



庄原自治振興区だより

第 177 号 令和 3 年 7 月 20 日 発行

〒727-0013

庄原市西本町二丁目 17 番 15 号

TEL/FAX

(0824) 72-3777



早めの避難の呼びかけ

令和 3 年 5 月 20 日から

警戒レベル4 避難指示で必ず全員避難

・・・避難勧告は廃止されました。！！

早めの避難こそが
命を守る第一歩！

近年、大雨特別警報が発表されるなど、豪雨による広範囲に甚大な被害が発生しています。災害から尊い命を守るため「早めの避難」を呼びかけていますが、避難情報がわかりにくいとの意見や、避難勧告で避難しない人が多いことにより、警戒レベル4に位置づけられている「避難勧告・避難指示(緊急)」について「避難指示」に一本化されました。

— 庄原自治振興区 —



警戒レベル

警戒レベル1

警戒レベル2

警戒レベル3

警戒レベル4

警戒レベル5

気象災害状況

気象状況悪化のおそれ

気象状況悪化

災害の恐れあり

災害の恐れ高い

災害発生または切迫

避難情報

早期注意情報

暴風・大雨・洪水注意

高齢者等避難

避難指示

緊急安全確保

住民がとるべき行動

災害への心構えを高める

自らの避難行動を確認

危険な場所から高齢者等は避難

危険な場所から全員避難

命の危険直ちに安全確保！

『厄流し』中止のお知らせ

例年 7 月 31 日に行われている厄流しですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度は中止といたします。

— 厄流神社奉賛会 —



6 月役員会報告

(6 月 22 日) 協議事項等は以下の通りです。

(1) 令和 3 年度主催事業について

- ・中止行事・・・第 14 回区民グラウンド・ゴルフ大会(新型コロナウイルス感染防止)
- ・実施予定事業・・・第 15 回区民ウオーキングの集いー10/16(土)、上野総合公園芝生広場
- ・第 14 回活動報告・作品展ー11/7(日)、庄原市ふれあいセンター
- ・のろし祭りー11/23(火・祝)、ゆうしゃいん コアハウス
- (絵下山のろしりレーー7/17(土) 振興センター前駐車場)

(2) 自治会活動報告・・・永末ー横田自治会長、次回は久保東自治会



～ いにしへの郷「庄原」からのつたえごと ～ No.15



シリーズふるさと歴史文化散策 近世3-後編

《時代劇を10倍楽しくする豆知識：俳句人 越智古声》

1800年代前半(文化・文政時代)の庄原町では俳句同好者が、甲奴郡稲草村(現総領町)庄屋越智吉左衛門(俳号古声)を指導者として「眠亭社中」を結成し「直乗庵」(現金福寺・棧敷屋板倉氏)、「風蘭荘」(天野屋伊藤氏別荘)において、度々俳句会を催していました。

『田総地方の俳諧』(総領町教育委員会)には、“関鶏”と号した伊藤伴兵衛満寛、その妻岐奈、“東水”と号したその息子啓八郎、“菊履”と号した板倉久右衛門貴忠、板倉桜律等が社中において、古声の指導を受けたものと思われる旨が記されています。

《通(つう)と粹(いき)》

江戸時代後期の町人文化の基本的考え方の要素に「通」と「粹」があります。

「通」とは、あらゆる世事・人情の機微に通じ臨機応変の行動がとれることであり、派手にして派手でなく洒落(しゃれ)を知って洒落を隠すようにふるまうことでした。

明和・安永～寛政期に盛んであった洒落本ではこの「通」の描写が主要題材でした。

ところが寛政改革を経て、文化・文政期になると「通」に代わって「粹」が町人の美的生活理念となります。表は質素な木綿の着物にし、裏にぜいたくな絹物をつけるといったものが「粹」とされ、当時流行した人情本や滑稽本を貫く、重要なアイデアとなりました。

越智古声は、延享3(1746)年～文政6(1823)年の人で、庄原町棧敷屋板倉家から養子となり越智家を継ぎました。

蕉門の流れをくむ京都の俳僧“蝶夢”(1732～1796)に師事して蕉風を学び「桃甫・眠亭」とも号しており、寛政4(1793)年、芭蕉百回忌を行っています。

庄原、その他で行われた追善俳諧を収録した『ももとせのふゆ』を刊行、また文政2(1819)年備中笠岡において、蝶夢二十五回忌法要を営み、蝶夢生前の紀行文『はまちどり』を施版しています。

その付録追善句会集には、眠亭社中と思える庄原の33句(うち女性5人)が載っています。

こうした精神的風土は、明治初期に草深い県北の片田舎に、突如として近代的な「英学校」を出現させたり、青少年教育基盤が整った大正期に入ると、いち早く幼児教育の重要性にも目を向け、県下で2番目となる「幼稚園」を開設するといった文化的偉業に結び付きます。庄原の俳句会は、古声の死後一時中断しますが、明治27(1894)年庄原英学校創立者の一人である天野屋伊藤薫三が、柳井市出身の“尾崎篤太郎(俳号：如水)”を俳句指導者として招いたことから盛況を取り戻し、明治29年には句会を「蕉風社」と名付けるほどになります。

尾崎如水は庄原市指定無形民俗文化財の民謡「敦盛さん」を現在の唄型にした人でした。

彼は上ノ町(大胡自治会)を拠点に活躍し、俳人が県北一円から遠路参集する、盛大な月例会を開催しました。

参加者には倉田吾作(俳号：梅牛)もあり、息子“百三”の資質形成に何らかの影響を与えたものと考えます。

次回は、「時代劇を10倍楽しむ豆知識：庄原地方の百姓一揆」を紹介します。お楽しみに…。

《文・構成 庄原自治振興区 歴史文化継承委員会》



芭蕉塚(宝蔵寺)



元はこの付近にあったと思われる

風蘭荘跡地、上方に現スプリングホーム

公衛推のクリーン活動紹介

— 本町公衆衛生推進会 —

本会の活動は、春・秋のクリーンキャンペーン、毎月のポイ捨てパトロール、害虫駆除活動、毎月第3火曜日の市内巡回広報活動、上野池クリーン作戦などの活動を継続的に行っています。

本年は、毎年6月に計画していた、春のクリーンキャンペーンが、新型コロナウイルス感染症のため中止となりましたので、毎月実施しているポイ捨て防止パトロール活動を写真で紹介します。



大歳下地区



大胡地区



下本町地区



大黒上地区



西県営住宅



西下地区



東上地区



柳原地区



裁判所通り地区



実業通り地区

自治会紹介

④ 大久保東自治会

自治会長 土居友樹

・会員数（戸数） 31 戸

「～夏はナ～山根の池畔の波ヨ～金波銀波の波が打つ」、これは毎年8月14日開催している盆踊り大会での盆踊り唄の一節で、先人が地域の名所を春夏秋冬に織り込み創ったもので、その音頭に合わせて踊っていく自前の盆踊りです。

参加者は、住人に加え帰省客で膨れ上がり大盛況の行事です。「孫らが田舎のぼんおどりが好きで楽しみにして帰って来るんよ」とあちこちから聞き、主催者側も本気モードです。

我が地域は「日南(ひな)中の谷・陰地(おんじ)」の三つ谷から成り立つ山間部の農村集落で、ご多分に漏れず少子高齢化が進んでおり、住人は70人足らずで年間の主な行事は、前述した盆踊り大会・とんど祭り・人権学習会・サロン活動等々のほか「代(しろ)みて」と言って田植えが終わったことではじまった祝い事ですが、今では自治会主催の親睦会として楽しんでいます。また我が地域ならではの取組みとして、年一回有志で山頂約500メートルに位置する水源地「長草離池」に登り、防災活動の一環として、草刈り等を中心とした保守点検作業等を行っています。

更に、自治会と相關する活動団体として、農事組合法人大久保東があり、農地は昔から大事な財源であり、その財源を荒らさないよう守っていこうと言う切なる思いから利益は二の次にして、平成27年に立ち上げて活動して来ています。実際、経験者・後継者不足で前途多難ですが、毎月勉強会を開くなどして取り組んでいます。これが我が自治会や地域の現況ですが、みんな郷土愛豊かで、この地域の生活や文化のエンドレスを願い信じて頑張っています。



ポイ捨て防止・防犯・防災・広報活動

— 南 4 自治会 —

本区では、33 自治会を 8 グループに編成し、毎月第 3 火曜日に広報活動を実施しています。6 月 15 日の第 3 火曜日は南 4 自治会(大黒東・上・裁判所通り・大胡)により、午前 9 時から休憩時間をはさんで、区内全域(川手・柳原・東三区・本町)を、約 2.5 時間位で広報活動を実施しました。また、南 4 自治会共同活動として、ポイ禁防止パトロール・春・秋のクリーンアップ・人権学習会・地域別福祉連携会議・こどもたち対象の「南 4 区夏イベント」を開催しています。



広報活動



ポイ禁パトロール集合風景



夏だ！こども達全員集合(昨年)

不法投棄防止活動、防犯カメラ設置

— 庄原地区公衛推東三区支部 —

本推進会では、長年、県道 422 号線(庄原中領家線)の不法投棄防止に取り組み、ゴミが少なくなった所もありますが、特に美湯ハイツの周辺部においては、食品包装物・空き缶等が時々投げられており、不特定の多数ではないだろうと考えていますが、無くなっていません。昨年は、投げ捨てを防止するために漁網を張り巡らしましたが、張ってないところに投げ捨てた物が見られました。そこで、今年は広島県環境保健協会「みてますよ！不法投棄抑止の地域づくり事業」に応募し、監視カメラセットをいただきました。

それを昨年漁網設置した所へ、美湯ハイツ自治会環境衛生部のご協力いただき、6 月 7 日に設置しました。カメラで投棄場面を捉えることもできますが、夜間の投棄対策として、近づく LED ライトが点灯することでも、防止効果があると思います。今後は、美湯ハイツの皆さんに定期的に点検していただいて、ポイ捨ての無い町の実現を図っていきます。



環保協から頂いたカメラセット



センサーライトや監視カメラの設置状況



昨年、漁網を張り巡らした場所



8 月の振興区主催行事予定



10 日(火) 理事・総務企画室合同会議 13:30~

17 日(火) 環境美化・防犯パトロール 9:00~

(西下・西中・西上・実業通の各自治会長)

24 日(火) 役員会 13:30~

毎週 1 回 青少協防犯パトロール 16:00~



編集後記

今回の役員変更で、振興区便り担当となりました。菟原副区長と新編集員、事務局の皆さんのご協力をいただき努めていきます。引き続き、活発な振興区、自治会活動を発信したいと思います。

それにしても困るのは、原稿集めです。振興区の行事が中止になり従来の編集方針が通用しません。自治会や地域での活動、あるいは良い出来事などを、写真や投稿、あるいは事前に声かけをいただきたいと切に願っております。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

松浦 記